

委員会だより

< 1月9日(日) 13名出席 >

1. 行事計画の確認
 - ◆1月16日(日) ミサ後 ヨゼフ会 & マリア会の総会・新年会
 - ◆1月16日(日) 午後2時 聖公会・聖クリストファー教会との合同祈祷集会(於: 中和田教会)
 - ◆1月30日(日) 信徒総会
 - ◆2月13日(日) 合同洗礼志願式(於: 藤沢教会)
 - ◆3月12日(土) 午後2時 四旬節黙想会と赦しの秘跡
2. 信徒総会の次第と内容の確認(資料あり)
3. 降誕祭パーティ・新年賀詞交換会について

降誕祭パーティは新集会室でのティーパーティとした(経費も大幅削減)が、反響についてはヨゼフ会、マリア会それぞれの例会で意見を纏める。
4. その他
 - ◆グルニエ神父様より、1月23日(日)1:30pm~5:00pmに原宿教会「めぐみの家」にて地区宣教委員会が開催される旨、話があった。
 - ◆竹内委員が入院された旨、下村委員長より報告あり。
 - ◆マリア会会長の交代に伴い、鈴木さん、岩淵さんが挨拶をされた。

マリア会だより

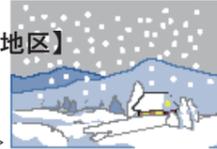
< 1月16日(日) 39名出席 >

- 【総会】
- ◆平成16年度、年間活動報告、一般及び特別会計報告
 - ◆鈴木会長挨拶
- 【1月例会】
1. 岩淵新会長挨拶
 2. 委員会報告
 - ◆委員会から昨年のクリスマスパーティーについて意見を求められていたが、マリア会としては、場所、実施方法共特に問題はないという結論となった。
 3. マリア会関係
 - ◆会則については婦人会から新しくマリア会と名称も変わり、会員である『成人女子』の定義も含めて2月例会で検討していきたい。
 - ◆会費については100円/月で承認。
 - ◆<地区別名簿> 削除 B地区: 福井圭 訂正 D地区: (誤)村上好重⇒(正)村上ふみえ
 - ◆初金及び土曜日に行っているお掃除については、ヨゼフ会にも呼びかけ協力をお願いする。
 - ◆広報への投稿は積極的によろしく願います。(マリア会担当は偶数月です)
 4. 婦人同志会関係 阿部映子さん報告:
 - ◆高齢司祭の老後の生活のため100万円寄付した。

ミサ当番表 (2005年1~2月)

月/日	第一朗読者	第二朗読者	共同祈願	奉納	オルガン	侍者	先唱者	準備係
2/6	宮崎	阿部(映)	宮崎	宮崎・松尾(秀)	森田	美底(さ)・石原(み)	大宮	花坂・大原
2/13					保科	石井(大)・石井(つ)	富田	井上・大宮
2/20	森田	花坂(昌)	岩崎(野)	森田・松尾(し)	岩淵	森脇(る)・石井(ま)	清水	中谷・青柳
2/27	森脇(信)	阿部(寿)	森脇(信)	森脇・宮崎(七)	森田	美底(か)・森脇(ま)	竹内	下村
3/6	富田	上野(明)	富田	富田・清水	保科	石井(祐)・永田	小野寺	松下・松尾(し)
3/13					岩淵	石崎・内田	東原	花坂・大原
3/20	山田	鈴木(輝)	阿部(映)	山田・七浦	森田	石井(大)・下迫(佳)	福島	井上・大宮
3/27	井上	丸田	井上	井上・町田	保科		萩原	中谷・青柳

- ◆同志会のネームを改める。
 - ◆1月27日新年会へのお誘い。
 - ◆新しい役員さんの募集。
5. その他
- ◆売店(下村さん): 新しい『典礼ノート(ミサの手引き)』を購入するので希望者は申し込んで下さい。
 - ◆典礼グループ(青柳さん): 共同祈願、朗読、奉納、冠婚葬祭等ご協力頂ける方はお名前をお書き下さい。
- 【新年会】
グルニエ神父様のご挨拶、伊藤神学生の乾杯の音頭、食前の祈りで新年会が始まりました。会食後、楽しい英語の歌や典礼聖歌を合唱し、和やかな内に会は終了しました。



ヨゼフ会だより

< 1月16日(日) 13名出席 >

- 2004年度の総括と2005年度計画を議論する総会が、また引続いて(昼食会の形で)新年会が開催され、年初に相応しい有意義なひと時を過ごすことが出来ました。
- 【1】2004年度決算の承認:
◆(前年度繰越金)142,444、(収入)97,000、(支出)103,193、(次年度繰越金)136,251
- 【2】2005年度運営体制の承認:
◆前年に引続いて、会長-小野、副会長-山本(仁)、会計-山田の役員体制。
- 【3】ヨゼフ会のあり方と活動内容に関する議論: ("壮年会"から名前は変えたが、まだ能書き倒れ)
◆多岐にわたる視点から、いろいろ活発なご意見を頂きました。例えば…
・若い世代に自然な形で入って頂く為に、聖書朗読、先唱などの当番をもっと広い範囲で回していくほうが良い(過去の失敗の反省を踏まえるべし)
・「ミサ」に対する考え方は世代によって異なることを認識すべき(例えば、高齢世代の方から見れば、「ミサは"絶対"」である)
・「何故教会離れが進んでいくのか?」について、皆が腹の底から思いを吐露出来る場が必要
・皆、なんらかの形で「貢献したい」という強い気持ちを持っている
・ヨゼフ会は"年寄りの会"であるという印象を持たれないようにいろいろな場面で配慮すべき
・例会の日は、ミサ後もっと強く呼びかけた方が良い
・ヨゼフ会の『目的と方針』を、より明確にすべし
◆以上のような議論を、例会の場でさらに深めていきたいと思えます。ご協力宜しく願い申し上げます。
- 【4】ヨゼフ会運営規定の見直し案承認(12月に内容議論済)
- 【5】ヨゼフ会電話連絡網、住所録、1~3月当番表の確認

広報 なかわだ

第309号

2005年2月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141
<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>
平成17年2月13日

2月の予定

委員会	2月 6日
合同礼拝(聖クリストファー教会)	2月 6日
灰の水曜日	2月 9日
壮年会、婦人会	2月 20日



中旬に始まる団体の旅

主任司祭 ジャック・グルニエ



『四十』の数字。それはキリスト信仰者にとって人との出会い、自分との出会い、しかも神との出会いへの招きを象徴するものです。教会の一員としての歩みをしてきた使徒パウロは変化、回心を語ります。「なぜなら、わたしは弱いときにこそ強いからです」(Ⅱコリント 12,10)。パウロもわたしたちも、交わりや出会いを通して、そのように新たに創造されました。やり方、役割、目標、それぞれ形作る救いは神から来ると知って、信じて、旅立ちます。

気に入った言葉を引用しながら、今年の四旬節におけるつとめ、また冒険を考察してみたいと思います。次の話は教育人間学を専攻する西平直師による分析です。「ある学生の宗教批判はなんとも痛快であった。『宗教は弱者の営みだ。自分の力で生きてゆけないから宗教に頼る。宗教は弱さを売り物にし、人間がもっている<強さへの意志>を萎えさせる。柔順に従うだけの愚かな羊。まじめな飼いならされた羊を作るだけだ』。[・・・] 実は多くの学生が、心のどこかで、こうした主張に共感しているのではないかと。いってみれば、強者の論理。他者を弱者と言いつつことによって、自ら強くあらしめようとするエリート意識。しかもその多くは、世に名が売れることをもって強者の証明と考えている。競争社会のストレスに打ち勝って、名を挙げることに、有名になることに。幸せは自分の手でつかむもの、自分の努力と才能で切り開くもの、幸せになるのに宗教は必要ない。[・・・] 実は、そうした『弱さの論理』が、奇妙なことに、『強さの論理』と表裏一体になっている。互いに補い合う関係。たとえば、調子の良い時は『強さの論理』でつつ走り、落ち込むと『癒し願望』に逃げ込み、『癒されて』元気になるとまた熾烈な競争に戻ってゆく。あるいは、社会の問題としてみれば、昼の産業は強さの論理で競い合い、夜の産業は弱さの受容で人を牽き付け、互いに補い合うのみならず、いわばマッチポンプ式に、相手を加熱させ合う関係になっている。したがって、この癒し願望は、強者の論理を補強しこそすれ、それを変更することにはならない。『癒し』それ自身が競争社会の中でこそ意味をもつのであれば、その社会の仕組みを変革する方向に向かうはずがない。その意味で、この『癒し』は『強者の論理』の裏返しである」。(「人間形成における宗教性的問題」 <若い人たちの話から> 『教育』2003年11月号、23-24)

ますます回心をいただいた自分を見出して、毎朝、世界に起き上がる気持ちになった! 私の「幸い」とはどんなに神さまと深い関係にあるかということに新たに目覚めたい。そういった視点から、今年も復活祭へ進んで歩きたい。では、今から、主イエス、またその証人たちから学んでいこうではありませんか。大きな賜物として四旬節のときをいただきます。



いのちについて考える

山本 照子

以前NHKの「ほっとモーニング」という番組で、絵本が大人のブームになっているというのを聞いた。昔を思い出し懐かしかったり、子育てで忙しいお母さんがホッとひと息をつく時、絵本で癒されるのだとか…。

もうずいぶん前に、友人が「この本見た？」と言って貸してくれた『葉っぱのフレディ』<いのちの旅>。読まれた方もたくさんいらっしゃると思います。春に生まれた主人公のフレディが、冬に枯れて散っていくまでの出来事で、夏には涼しい木陰をつくり、秋には黄色から赤へと紅葉して人間の目を楽しませてくれます。でも、同じ木の葉っぱに生まれても、その色が全部同じ色ではないことが、フレディには不思議でした。友達で、物知りのダニエルが、「生まれたときは同じでも、居るところが違えば、太陽に向かう角度が違う。風の通り具合も違う。月の光、星の明かり、一日の気温、なにひとつ同じ経験はないんだ。だから、紅葉するときは、みな違う色に変わってしまうのさ」と教えてくれた。

冬になり枯れたのですが、ダニエルは「僕らは、春から冬までの間よく働き、人間を楽しませたりもしたのだから、どんなに幸せだったことだろう」と満足なほほ笑みを浮かべて静かに散り、フレディも後に続きます。地に落ちた葉っぱたちは、やがて土にとけ込んで、木を育てる力になるのです。そして、春になれば若葉が芽生え、また葉っぱの一生が始まります。

人の一生も、人それぞれ生まれも育ちも違い、どうやって死を迎えるのかなど、考えさせられた絵本でした。この本の帯には、<子どもの心をもった大人たちに贈ります。私たちはどこから来て、どこへ行くのだろう。生きるとはどういうことだろう。死とはなんだろう。人は生きるかぎりこうした問いを問い続けます。この絵本が、自分の人生を「考える」きっかけになることを祈ります。>と書いてありました。

ヨゼフ会会長挨拶 小野 雅彦

微力ながら、ヨゼフ会会長を、副会長の山本(仁)さん、会計の山田さんと共に2005年も担当させていただくことになりました。宜しくお願ひ申し上げます。

中和田教会も、下村委員長のリーダーシップのもとで、新しい時代に向かって運営体制を刷新しつつあり、2005年はその運営体制を軌道に乗せる節目の年と思っております。ヨゼフ会としても是非この動きに貢献させていただくように会員の皆様と共に邁進したいと念じております。活動の軸にすべきことは、グルニエ神父様が常に言っておられる『教会の仕事は全員で』であると思ひます。

またそれと同時に、ヨゼフ会の役割を、イベント中心の活動に留まることなく、カトリック教会信徒としての原点に立ち返り、『開かれた教会』の真の実現に向けて、世代を越えた闊達な議論の場にしていきたいと考えております。

重ねて、本年も皆様のご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

婦人会長を終えて

鈴木 矩子



一年前、不安を持っての出発でしたが、皆様のご協力でなんとか終わることが出来ましたことを感謝しております。

「交わりとしての教会をめざして」今年には沢山のことを考えてきたのではないのでしょうか。運営基準のこと、グループ形成のこと、これからのマリア会のこと…など。よく分からないながらも、私たちの共同体を皆が責任を持って参加し、支えていかなければという気持ちが少しづつ高まってきていたと思ひます。

しかし、一年間をとおして、その声がどれだけ反映されてきたのかをみると、なお残念な気持ちが残ります。

二年前までいた大阪では、阪神淡路大震災の後「交わり証する教会」をめざしていち早く動き出し、御ミサの後でも年齢や男性女性にこだわらず自由に活発に意見を交わしていたことを思い出し、中和田教会もそのようになればと、何時も願って来ました。

この一年間いろいろなことがありましたが、皆様及び事情をかかえながらもがんばって私を支えてくださった他の役員さんにお礼申し上げます。

ありがとうございました。

マリア会新会長挨拶

岩淵 洋子

5年前の大病以来、皆さまが気づかって優しくして下さるのを良いことに、好き勝手なことをしていた私も、さすがにそろそろ教会のために何か協力しなければと軽い気持ちでお役を引き受けたのですが、な、なんと会長に??? 何も知らない、何もできない…どうしよう、どうしたらいいのと悩み、沈み、考えあぐねた結果、生来の楽道家もてつだって、何とかかなるかなあ〜の勢いでお引き受けしてしまいました。これまでは私のできることだけのお手伝いでしたが、もっと幅を広げて苦手なこと出来ないことも経験し奉仕しなさいという神さまのメッセージですね。おかげさまでベテランの方々がお手伝い、ご指導下さいますので、お力を貸していただけて何とかこの一年乗り切っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。

昨年来グループ性導入で教会が新しい方向に進みつつある時に、マリア会がどのように関わり、何をすればいいのか、何を求められているのか等共に考え、試行錯誤しながら歩みたいと思ひます。皆さまの暖かいご協力をよろしくお願ひ申し上げます。



2005 年度信徒総会議事録

・1月30日 10:30am-12:30

・出席者： 48名

■開会宣言 - 主の祈り (萩原委員)

■グルニエ神父挨拶

➢4月以降の新体制を、神様と共に歩む新しい動きのきっかけにして欲しい、今度中和田小教区主任司祭を兼務される鈴木神父は、共同司牧の視点から教区の委員会を長い間主導してこられた。よく話をして欲しい。

■下村委員長挨拶 (要旨)

➢1年を振り返って、災害の多かった1年でもあった。信徒各位の献金、義捐金に感謝する。

➢新しい試みとして8月末に臨時総会を開いて新しい運営体制、建物修繕の必要性をご説明した。お陰様で信徒各位のご理解、並びに多額の献金を頂くことが出来、感謝申し上げます。

➢各委員を中心とするグループ運営を開始した。あとで各委員から簡単に報告して頂く。

■議長選出： 山本仁、大宮両氏を選出

■議長挨拶

■04年度行事報告 (下村委員長): 配布資料にて説明

■05年度行事計画説明 (山本委員): 配布資料にて説明

【質疑】

Q: 復活祭の大掃除は3/26になっているが、聖土曜日と重なっている。 ずらせないか?

A: マリア会の方の要請でそうなっているが、よく相談して欲しい。 ずらすことには吝かではない。

Q: バザー: もうやることを決めているのか?

A: 建物老朽化もあり、教会委員会としてはやる方向で予定に入れたが、これは今後の審議による。

Q: 「区民クリスマス」が予定表に入っていないが?

A: 予定表は中和田教会主体に行事を纏めたもので、教会が「区民クリスマス」に協力しないということではない。

➔ いくつかの関連議論を経て、結論として「区民クリスマス」は教会予定表に入れることに決定。

■2004年度決算報告 (甲斐委員): 配布資料にて説明

➢会計監査報告 (冨田さん) 1/22に会計監査を実施、全て適正で誤りが無いことを確認した旨報告。



【質疑】

Q: 「区民クリスマス」の練習場提供で頂いている暖房費どこの勘定科目に入っているのか?

A: 「特別献金」に計上されている

Q: 教会預金口座に関する質問 (内容略)

★拍手をもって、決算報告が承認された

■05年度予算説明 (甲斐委員): 配布資料にて説明

【質疑】

Q: 勘定科目に「祭儀献金」という言葉がある。葬儀をアテにしているようにも感じるがいかがなものか?

A: 検討させて頂く (委員長)

★拍手をもって、予算案が承認された。

■教会建物修繕計画について:

➢2005年度修繕費総額435万円の内容説明 (福島委員)

➢補足説明 (甲斐委員)

■委員会委員選出結果 (教会委員選出委員):

➢教会委員立候補者が無かったこと、および新グループ運営体制が端緒についたばかりでもあり、2004年度委員は全員2005年度も留任することを報告 ➔拍手をもって了承された

■中和田カトリック教会運営規定承認 (下村委員長):

➢2004/8/29の臨時信徒総会で審議された運営規定は本信徒総会の承認をもって発効することになっていたが、これについても異議無く拍手をもって承認された。

■各委員からのグループ報告: 各委員より5分程度の時間で活動内容・課題について説明があった。一粒会の宮崎委員より、2004年度本部送金額379,465円 (対前年度24%増) で会員数71名と報告された。

■小谷さんよりご聖堂のレイアウトに関するご提案があり、配布別資料に基づく説明があった。 ➔ 委員会で検討していくこととなった。

■以上の議題に引き続いて、

➢『「開かれた教会」としての方針』

➢『各グループの活動内容の周知の仕方ならびに協力のあり方』

➢『4月以降の新体制下での中和田小教区のあり方』などに関して、熱心な議論あり ➔ 今後の中和田教会の基本問題として、全員で考えていく。

■引き続き、議長解任挨拶、閉会挨拶 (小山委員)、閉会の祈り - 閉会宣言をもって終了した。

参加された皆様、お疲れ様でした。

お知らせ

① 帰天 お悔み申し上げます

12月30日 マリア・ジェノヴェーファ 小西 ふみ 様

1月15日 ヨゼフ・マキシミアノ・コルベ 一法師 博 様

② ご結婚 おめでとうございます

1月29日 (高輪教会にて)

アウグスチヌ 萩原恒夫様

荒井幸子様



③ 新成人 おめでとうございます

岩淵宏毅さん

太田貴子さん

武石真太郎さん

④ 四旬節が始まります

・灰の水曜日 2月9日(水)午後8時～

・黙想会と赦しの秘跡 3月12日(土)午後2時～

